

## 小学生の朝の居場所づくりモデル事業に係るアンケート調査結果について

令和6年7月から、小学生の朝の居場所づくりモデル事業（以下「モデル事業」という。）を、市立小学校2校で実施しています。

モデル事業の今後の進め方等を検討するため、モデル実施校及び市立保育所の保護者を対象にアンケート調査を実施しましたので、結果を御報告します。

### 1 アンケート調査の概要

モデル事業の課題等の把握に向け、モデル実施校2校に在籍している児童の保護者に対してアンケート調査を行いました。また、小学校入学を控えた児童の保護者のニーズ等を把握するため、市立保育所を利用している4歳児・5歳児クラスの保護者に対してアンケート調査を実施いたしました。

| 対象           | モデル実施校                             | 市立保育所                                |
|--------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 調査期間         | 令和6年9月19日～10月31日                   | 令和6年8月27日～9月11日                      |
| 調査対象者        | モデル実施校2校の在籍児童の保護者                  | 市立保育所56園を利用している4歳児・5歳児クラスの保護者        |
| 回答数<br>(回答率) | 386人/938人 <sup>※1</sup><br>(41.2%) | 316人/2,273人 <sup>※2</sup><br>(13.9%) |

※1 R6.4月時点 ※2 R6.8月時点

### 【参考】モデル事業の概要

| 実施校                 | 美しが丘小学校  | 美しが丘東小学校  |
|---------------------|--|-----------|
| 目的                  | 保護者の子育てと仕事の両立を支援するとともに、子どもたちが小学校の始業前の朝の時間に安心して過ごせる環境を整える   |           |
| 内容                  | 保護者の付き添いのもと登校し、見守り員による見守りのもと、小学校内の活動場所（体育館等）で読書などをして静かに過ごす |           |
| 事業開始日               | 令和6年7月22日  | 令和6年7月16日 |
| 実施日・時間              | 平日 午前7時から8時頃まで<br>(長期休業日を含む)                               |           |
| 対象児童                | 実施校に在籍する児童   |           |
| 利用料                 | 無料（別途保険料800円/年）  |           |
| 利用登録者数 <sup>※</sup> | 4人   | 6人        |
| 実利用者数 <sup>※</sup>  | 2人   | 3人        |

※ R6.11月末時点

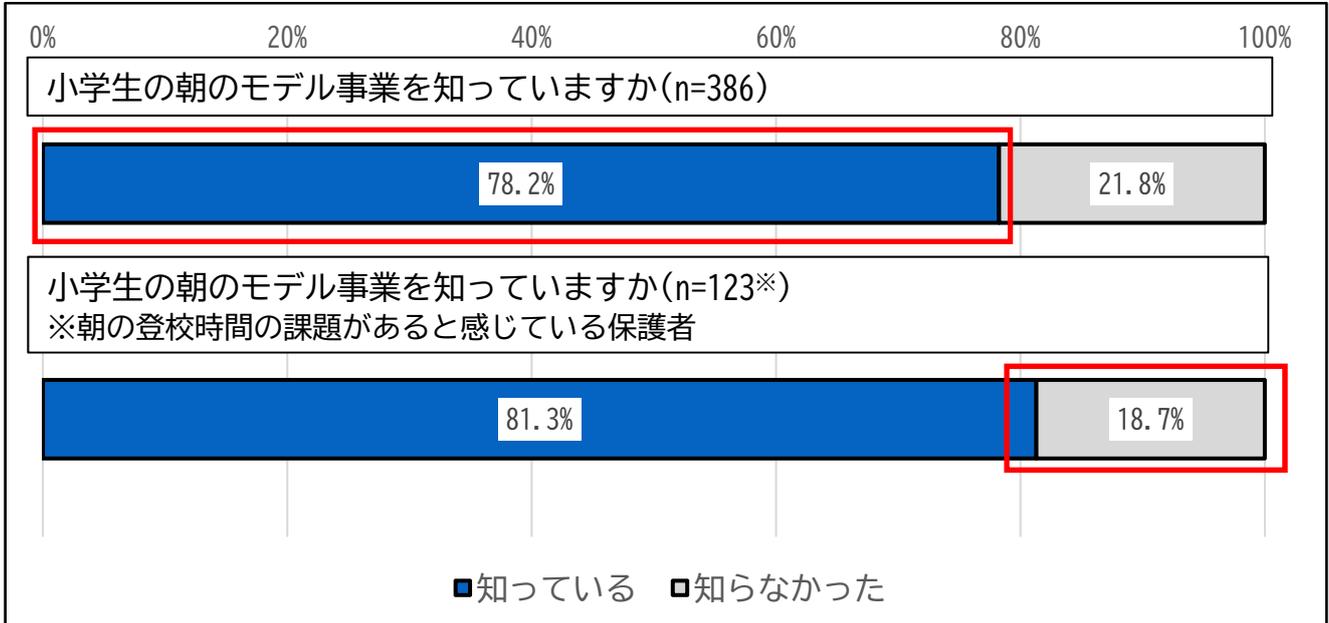
## 2 アンケート調査の主な結果について

### (1) モデル実施校アンケート

#### ア 小学生の朝の居場所づくりモデル事業を知っていますか (n=386)

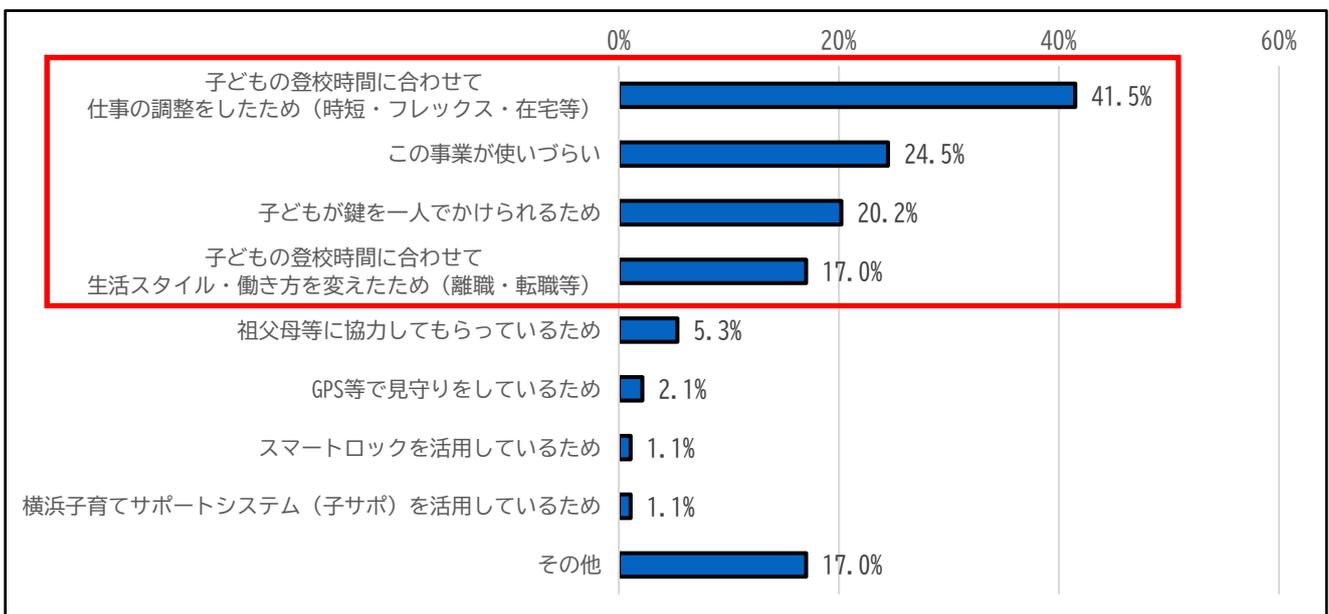
78.2%の保護者がモデル事業を「知っている」と回答しています。

なお、朝の登校時間の課題がある（保護者の出勤時間がこどもの登校時間より早い等）と感じている保護者のうち、18.7%がモデル事業を「知らなかった」と回答しています。



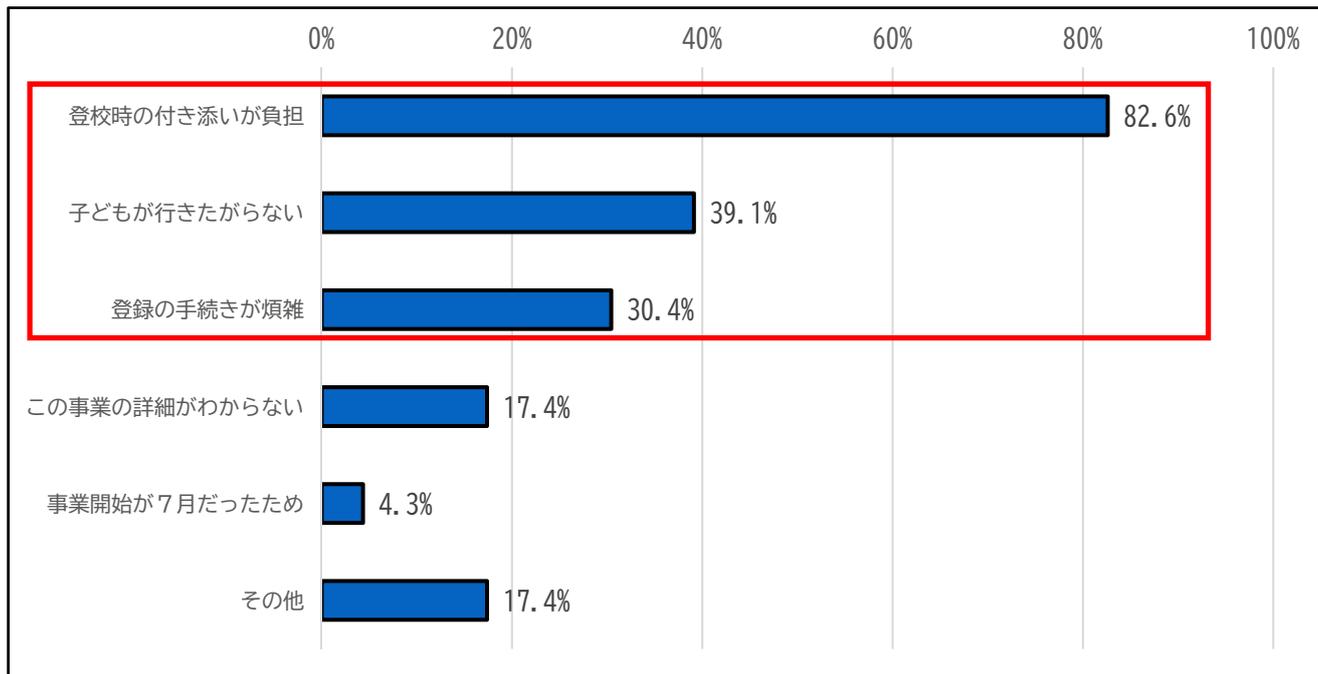
#### イ 登録していない理由を教えてください（複数回答可） (n=94)

「朝の登校時間に課題があると感じている」かつ「モデル事業に登録していない」保護者に、モデル事業に登録していない理由を尋ねたところ、「子どもの登校時間に合わせて仕事の調整をしたため（時短・フレックス・在宅等）」が41.5%で最も多く、次いで「この事業が使いづらい」が24.5%、「子どもが鍵を一人でかけられるため」が20.2%、「子どもの登校時間に合わせて生活スタイル・働き方を変えたため（離職・転職等）」が17.0%となっています。



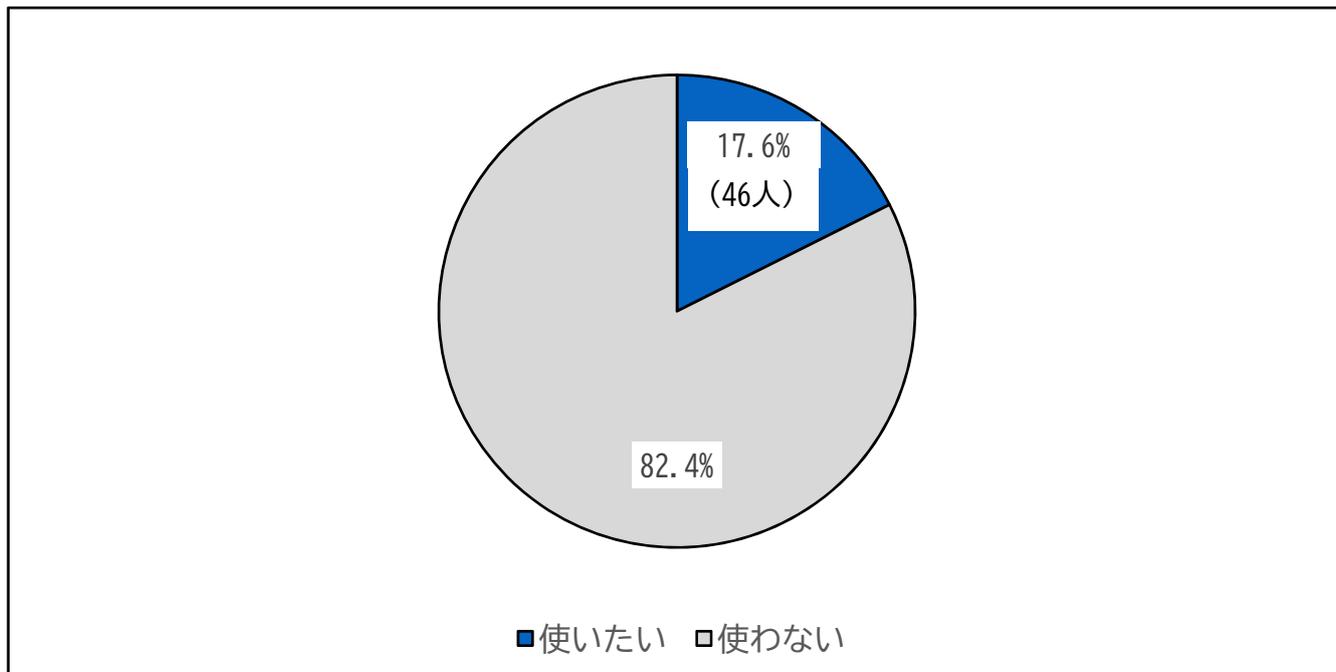
### ウ 使いづらいと思う理由を教えてください（複数回答可）（n=23）

「イ」の設問で、「この事業が使いづらい」と回答した保護者に理由を尋ねたところ、「登校時の付き添いが負担」が82.6%で最も多く、次いで「子どもが行きたがらない」が39.1%、「登録の手続きが煩雑」が30.4%となっています。



### エ 来年度この事業が実施される場合、使う予定はありますか（n=262）

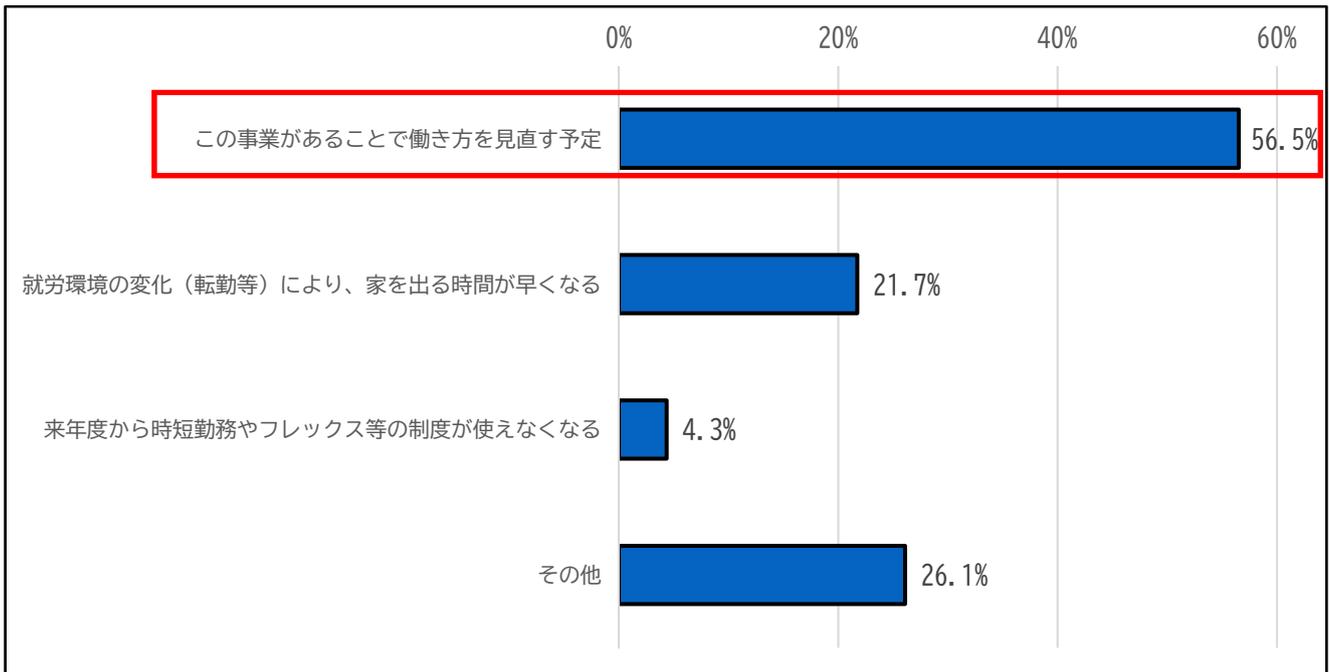
「モデル事業を知っている」かつ「モデル事業に登録していない」保護者に、来年度のモデル事業の利用予定を尋ねたところ、17.6%にあたる46人が「使いたい」と回答しています。



※6年生を除く

### オ 使いたい理由を教えてください(n=46)

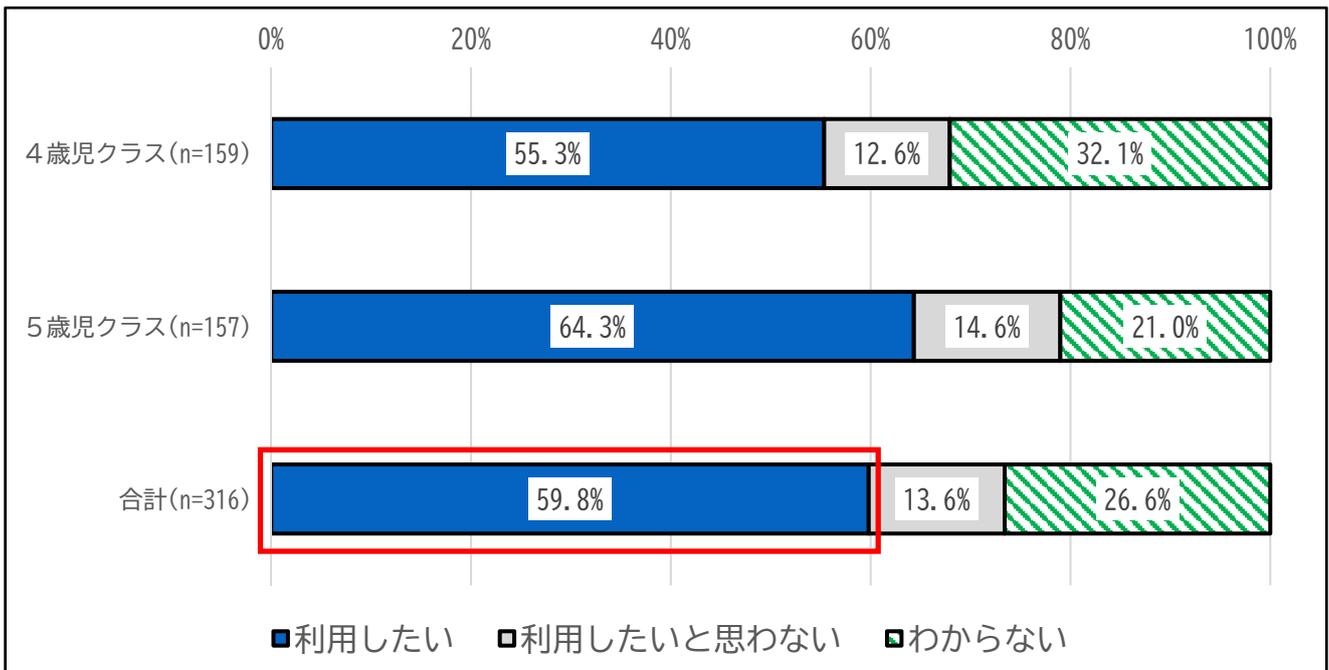
「エ」の設問で「使いたい」と回答した保護者に理由を尋ねたところ、「この事業があることで働き方を見直す予定」が56.5%で最多となっています。



### (2) 市立保育所アンケート

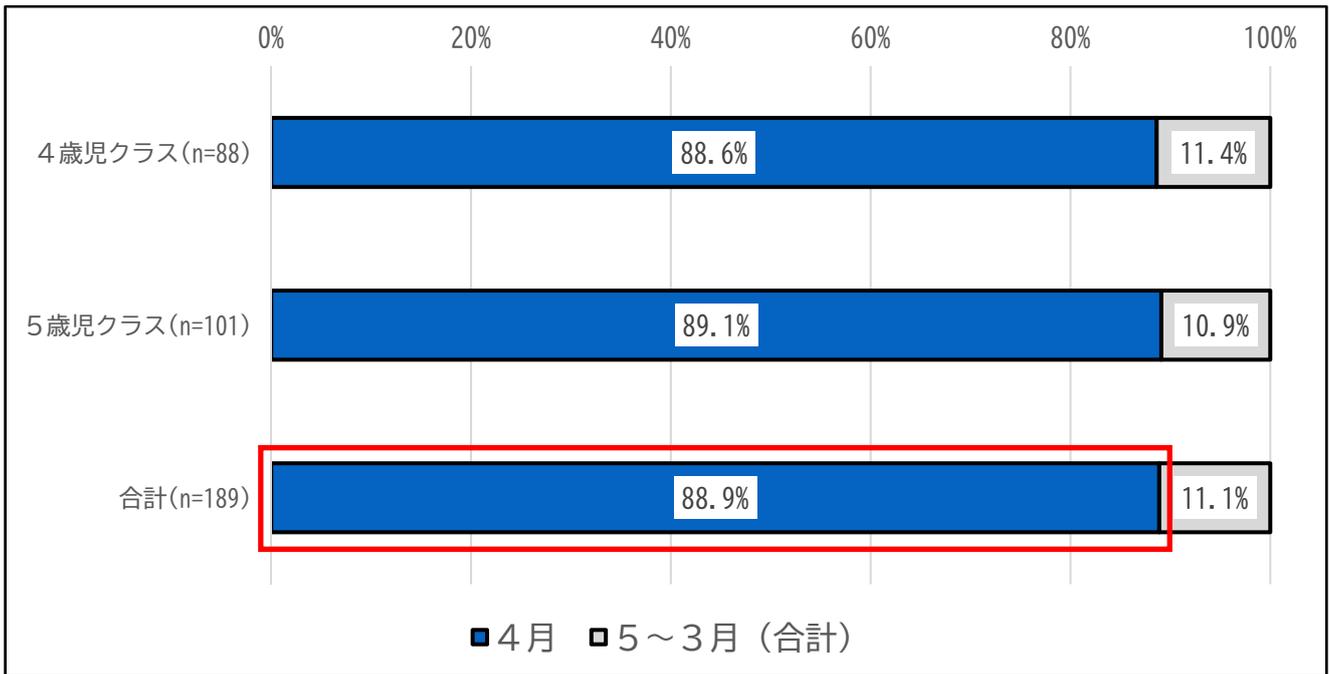
ア 「小学生の朝の居場所づくりモデル事業」がお子さんの通学予定校で実施されていたら利用したいですか(n=316)

59.8%の保護者が「利用したい」と回答しています。



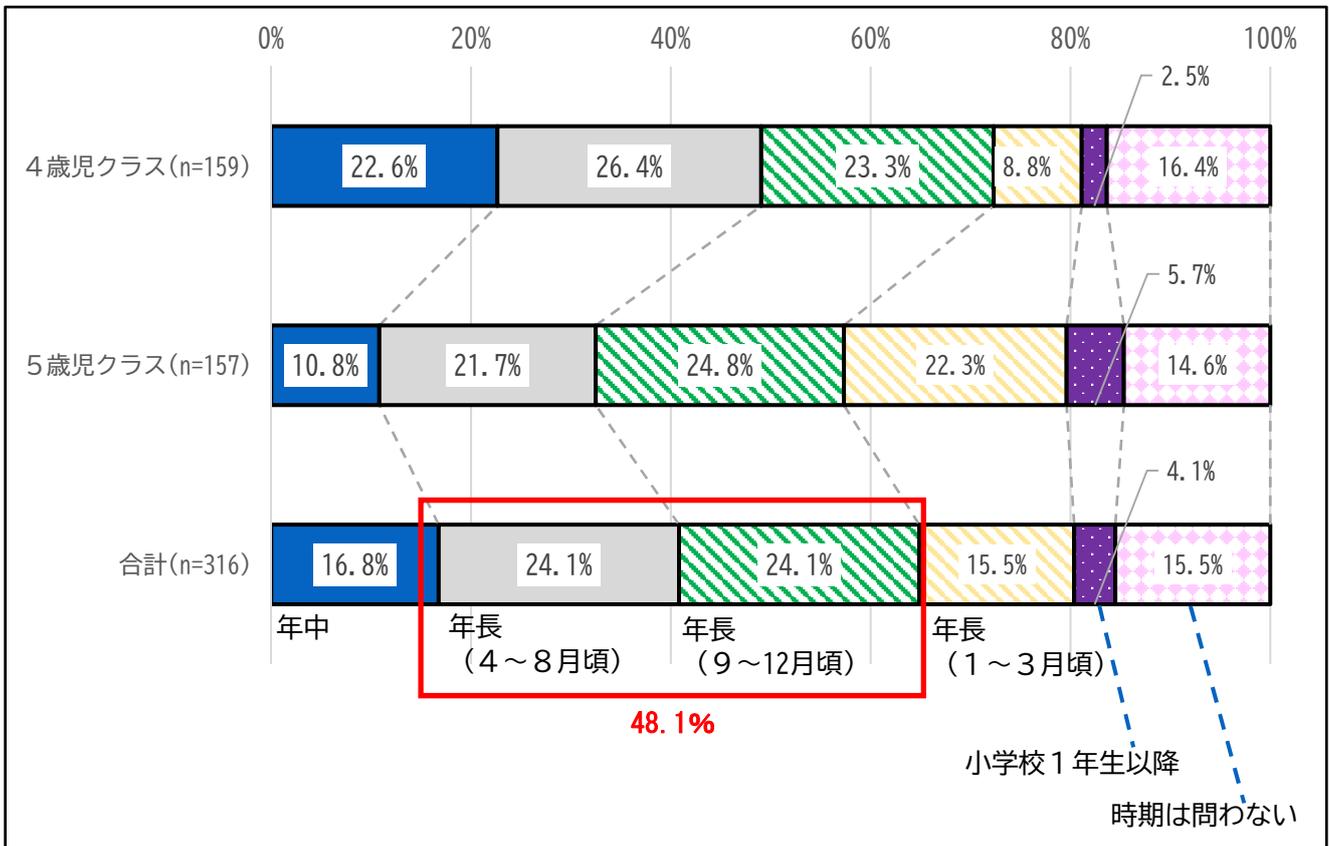
イ いつからこの事業を開始してほしいですか (n=189)

「ア」で「利用したい」と回答した保護者に、事業開始時期の希望を尋ねたところ、88.9%の保護者が「4月」から実施してほしいと回答しています。



ウ 朝一人でこどもが家を出発する際の支援メニューがある場合、いつまでにその制度を知りたいですか (n=316)

48.1%の保護者が「年長 (4~8月頃)」「年長 (9~12月頃)」と回答しています。



### 3 まとめ

令和6年7月にモデル事業を開始しましたが、登録・利用者数が少ない状況であり、モデル事業における課題や、今後小学校に入学する未就学児の保護者ニーズを把握するために、アンケート調査を実施しました。

まず、モデル実施校でのアンケート結果を見ると、朝の登校時間に課題があると感じている保護者のうち、約2割がモデル事業を「知らなかった」と回答しており、**支援が必要な保護者に対して、確実に周知がされるよう取り組む**必要があります。

また、モデル事業に登録していない理由として、既に仕事の調整等によりライフスタイルを変更したという回答が多く見られたことから、**保護者が児童の入学後の働き方等を検討するに当たり、モデル事業の実施の有無を知ることができるよう、適切な時期に周知を行う**ことが重要となります。その他、「この事業が使いづらい」と回答している理由が、多い順に「登校時の付き添いが負担」「子どもが行きたがらない」「登録の手続きが煩雑」であったことを踏まえ、**登校時・利用時の児童の安全と満足度、保護者の利便性などを考慮した実施方法**を、引き続き検討していく必要があります。

来年度に向けては、**「この事業があることで働き方を見直す予定」**を主な理由として、50人近い保護者がモデル事業を新たに利用する予定と回答するなど、モデル事業への期待が感じられました。

次に、市立保育所アンケート結果では、約6割の保護者がモデル事業を「利用したい」と回答しており、また、利用時期については約9割が「4月」からの利用を希望していることから、**小学校入学に伴う朝の時間の支援ニーズは一定数ある**と考えられます。

今回のアンケート調査結果等を踏まえ、来年度に向けてより多くの児童・保護者に利用いただける事業となるよう取り組んでいきます。